

サステイナビリティセミナー 開催のご案内

2017年 3月13日(月)
午前8:30～午後17:30(予定)

入場無料
(先着200名)

Sustainability

(持続可能性じぞくかのうせい)

環境学的には、生物的なシステムがその多様性と生産性を期限なく継続できる能力のことを指し、さらに、組織原理としては、持続可能な発展を意味する。すなわち、人間活動、特に文明の利器を用いた活動が、将来にわたって持続できるかどうかを表す概念であり、エコロジー、経済、政治、文化の4つの分野を含むものとされる。

サステイナビリティは現代のスポーツシーンにおいて欠かせない要素となっています。特に2020年に向け、IOC（国際オリンピック委員会）はスポーツ施設と社会、環境との共存をはかるとともに、経済も含めた持続的な仕組みの構築を目指した活動を推進しています。

このたび、R&A（Royal and Ancient Golf Club of Saint Andrews）と（公財）日本ゴルフ協会ではゴルフ場のサステイナビリティについて日本初のセミナーを開催するはこびとなりました。ゴルフ場は自然環境として芝生地、林地を持ち、更にそこには生態系も存在するという、稀なスポーツ施設であり、他のスポーツ施設に比較してもサステイナビリティにおいて果たせる役割は大きなものがあります。

このような視点から、ゴルフ場の施設の在り方や運営の方向性、コース管理のあるべき姿などについてセミナーを実施いたします。絶好の機会と存じますので、ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、本セミナーは無料にて参加いただけますが、先着200名様までとなっておりますので、お早めにお申し込みください。

会場

横浜カントリークラブ

横浜市保土ヶ谷区今井町1025 *東戸塚駅よりクラブバス運行予定

講座

- 1.サステイナビリティ、その意味と意義
- 2.ゴルフコースの改修
- 3.ゴルフコースの維持管理
- 4.サステイナビリティの基準と評価
- 5.まとめと質疑応答

講師

ドミニク・ウォール Dominic Wall (R&A アジア太平洋ディレクター)
スティーブ・アイザック Steve Isaac (R&A サステイナビリティ担当ディレクター)
田中丈夫 Takeo Tanaka (東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 大会準備運営局 持続可能性部長)
マイカ・ウッズ Micah Woods (アジア・ターフグラス・センター 主任研究員)
ビル・クーア Bill Coore (クーア & クレンショーゴルフデザイン パートナー)
ポール・ジャンセン Paul Jansen (ジャンセンゴルフコース設計と建設 オーナー)
ジョナサン・スミス Jonathan Smith (ゴルフ環境団体 最高経営責任者):同時通訳があります

申込方法

<http://www.randa.org/japan> よりお申込みください

主催 R&A (Royal and Ancient Golf Club of Saint Andrews)

公益財団法人日本ゴルフ協会

後援 スポーツ庁(予定)、NPO日本芝草研究開発機構